

このプリントのねらい

- 起こる事象が2回以上のときの起こりうるすべての調べ方を学び、その確率をもとめることができる

※ 3年1組の生徒はp188たしかめ2（プリントp2）から

3年2組の生徒はp188例題1（プリント2）から

p186 たしかめ2（3年3組のみ）

Q

(1) 答え：	ア 答え：
(2) 答え：	イ 答え：
(3) 答え：	ウ 答え：
(4) 答え：	答え：

p 187 ③いろいろな確率



2枚の10円硬貨を同時に投げるとき、次のア～ウのどの場合が起こりやすいか予想してみましょう。

- ア 2枚とも表 イ 1枚は表で、もう1枚は裏 ウ 2枚とも裏



表

表



表

裏



裏

裏

【起こりうるすべての場合を図にかいて整理する】

【起こりうるすべてを調べる図】

問1 左の図から、ア、イ、ウの確率をそれぞれ求める。

【ア 2枚とも表になる確率】

答え：

【イ 1枚は表、もう1枚は裏になる確率】

答え：

【ウ 2枚とも裏になる確率】

答え：

p187 たしかめ1

答え：

p188 例題1

【起こりうるすべての場合を整理する】

【確率を求める】

p188 たしかめ2

問2

(1)

答え：

(2)

答え：

(3)

答え：

答え：

p189 例題2

【起こりうるすべての場合を整理する】

【確率を求める】

p189 たしかめ3

答え：

【本時のまとめ】事象が1つの時と、事象が2つ以上になったときの違いを説明しなさい